

## 令和元年第9回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 令和元年9月25日(水) 14時00分
- 2 閉会日時 同 日 15時09分
- 3 開催場所 加西市役所 1階多目的ホール
- 4 出席者 教 育 長 兼 松 儀 郎  
委 員 沼 澤 郁 美  
委 員 楠 田 初 美  
委 員 中 川 和 之  
委 員 深 田 英 世

- 5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	本 玉 義 人
教育総務課長	今 西 利 夫
学校教育課長	安 富 重 則
こども未来課長	伊 藤 勝
生涯学習課長	森 幸 三
図書館長	菅 野 広 美
総合教育センター所長	常 峰 修 一
教育総務課主幹	井 上 英 文
こども未来課主幹	周 夕 美
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ちあき

- 6 付議事項

議案第31号 (仮称) 泉こども園の名称について

- 7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

- 8 質問及び討議の内容

### 議案第31号 (仮称) 泉こども園の名称について

こども未来課長より説明する。(仮称) 泉こども園の名称について、「泉よつばこども園」と命名したいので、委員会の議決を求める。

6月の定例教育委員会で(仮称) 泉こども園の名称について、アンケートをしている旨の報告を行った。

そのアンケート結果をとりまとめて、7月の定例教育委員会で名称を「泉よつばこども園」と提案したが、それよりも得票数の多い候補名があったことから、継続審議となった。

これを受け、8月に再度保護者に経過を説明し、前回のアンケートで得票数の多かった「泉よつばこども園」「いずみの森こども園」「泉の森こども園」の3案に絞り、再度アンケートを行ったところ、「泉よつばこども園」の得票数が一番多かったため、最終的にこれを名称に決めたいと思い、再度議案として提出するものである。

#### 教育委員からの質問およびこども未来課長の回答

・「泉よつばこども園」は、49名の一致の意見であるのか。みんながそれで良いのであれば、そのままでよいが、どうしても「泉よ」で区切れるように引っかかってしまうので、「泉」と「よつば」の間に空白を1つ入れるなどの変更はできないのか。

(回答) 提案としては、このままでお願いしたい。

・前回は「いずみの森こども園」の得票数が最も多かったが、今回は「泉よつばこども園」が49票と一番多くなっている。アンケート以外に何かご意見やコメントとかを書かれた例は無かったのか。

(回答) 回答は○をつけて選ぶだけの形式であったため、そのアンケートの中にご意見は無かった。再度アンケートを配付する際に事務局の方から、こういう提案者の思いもあり、「泉よつばこども園」を事務局としては推しているという意向を最初に示した上で、それでもやはりそれ以外の名前が良いという方については、それ以外に○を付けてくださいという形にしていた。

・回収率57%というのが、気になるのだが。

(回答) 前回7月にアンケートを行った際の回収率は66%であった。今回は2回目であったということ、名前が絞られていたということ、事務局の方から、この案でという説明があったことなどの理由から、今回は、回収率が下がってしまったのではないかと理

解している。

教育委員からの意見

- ・ 2回目の審議になるので、「泉よつばこども園」で良いと思う。気になるところがある方は、2回目のアンケートに意見を書かれると思うが、それも無かったということなので、これで良いのではないかと思う。
- ・ パーセンテージは前回よりも10ポイントほど下がっているようだが、全体の流れからご意見等も無かったのであれば、それを重視して、この名前で進めて良いと判断する。

## 9 議決事項

議案第31号 (仮称) 泉こども園の名称について

原案通り可決

教育委員からの要望

- ・ 園の名称に込められた想いというのは、何年か経つと忘れられてしまう傾向にある。今回4つの園が1つになるということ、「希望」、「誠実」、「愛情」、「幸せ」の4つの意味を象徴して「よつば」とされた、このメッセージを永く伝えていけるよう工夫をお願いしたい。

## 10 報告事項

### 教育長

- 8月21日(水) 全県夏季教育委員会研修会(神戸市)
- 8月23日(金) 日本PTA全国研究大会兵庫大会第4分科会(三木市)
- 8月29日(木) 兵庫県都市社会教育行政主管者会(善防公民館)
- 8月30日(金) 定例校長会
- 8月30日(金) 中高コラボレーション事業報告会
- 9月2日(月) 市議会本会議(第1日)
- 9月5日(木) 北播磨補導委員連絡協議会理事会(総合教育センター)
- 9月10日(火) 市議会本会議(第2日)
- 9月11日(水) 市議会本会議(第3日)

- 9月13日（金）市議会総務常任委員会・予算決算常任委員会総務分科会
- 9月14日（土）中学校体育祭
- 9月17日（火）加西市文化財保存活用地域計画協議会
- 9月19日（木）代表区長会
- 9月20日（金）加西市立図書館協議会
- 9月22日（日）小学校運動会

#### こども未来課長

令和2年度 認定こども園・保育所 入所申込について説明する。

認定区分は次のとおりである。教育利用、幼稚園利用の方については1号認定。保育利用、就業などの理由により保育が必要な家庭で、3歳以上のお子様については2号認定、3歳未満のお子様については3号認定である。

新規に申込をされる方については、10月10日から10月31日の間に一斉申し込みの受付を行う予定である。来年の2月までに利用調整を行い、入園決定の手続きを進めていく予定である。

施設の一覧については、表のとおりである。新たなこども園として（仮称）泉こども園が開設され、宇仁・日吉・泉・泉第三といった幼稚園、保育所が無くなり、（仮称）泉こども園に集約される。

賀茂幼稚園についても、名称はそのままであるが、こども園として実施する予定である。既に3歳からの教育利用を行っており、内容的には変更はない。計5つの公立園がすべてこども園として、来年からスタートすることになる。

私立園については、富田保育所が改築工事を行っており、来年4月には新たな園舎が完成し、こども園としてオープンする予定である。

これにより、公立・私立合わせて10園の認定こども園と1園の保育所となる。

今、在園中の方はそのまま学年が1つ上がるだけで、新たな手続きは不要であるが、新たに入園される方、転園される方については、今回の入所申込が必要となる。そういった方々に対して、9月17日と26日に公立園の入園説明会を開催し、受付の書類の作成方法等を案内する予定である。

加西市教育委員会指定 幼稚園・こども園教育研究発表会について説明する。

昨年、日吉幼稚園で開催した研究発表会を今年度は泉第三保育所で開催する予定である。泉第三保育所が今年で最後ということもあり、公立の保育所で最後の1園となった泉第三保育所で最後に研究発表をすることになった。

研究主題は、「さまざまな人的・物的環境とかわりながら主体的に遊ぶ子どもを育てる～『たのしいな』『もっとやりたい』明日につながる保育環境を探る～」である。11月8日（金）の午前中に泉第三保育所において公開保育を行い、翌9日（土）は、13時15分受付、13時30分から健康福祉会館において、研究発表の全体会として、泉第三保育所の職員の発表、その後、講師に兵庫教育大学准教授 鈴木正敏先生をお招きして、講演を予定している。

#### 教育委員からの質問およびこども未来課長の回答

・令和2年度の入園案内説明会は9月17日（火）の9時台、10時台、14時台と3回行われているが、9月26日（木）は午前中の2回しか説明会の設定がない。今までの説明会の参加者実績等によるものなのか、26日の午後に説明会が無いのは、どうしてなのか。

（回答）昨年度も2日間説明会を開催しており、初日は午前中2回、午後1回、2日目は午前中2回の時間設定であった。これまでもほとんどの方がお子様を連れて来られており、一番多いのが午前9時から、次に多いのが午前10時から、昼からの時間は、お子様のお昼寝の時間に重なるからか、参加者は非常に少なかった。

今回も9時台が30～40人、10時台も30人、14時半からは20人であった。出来るだけ、回数を分けて説明会を行いたいと考えているが、どうしても時間が合わないという方には事前に連絡があれば、窓口で個別に対応を行っている。

・1号認定は、教育利用で3歳以上の保育を必要としない子どもが対象であると記載がある。幼稚園は5歳以上だけかと思っていたのだが、3歳も、4歳も、5歳も対象であるということなのか。また、3歳で何を教育されているのか。

（回答）お勤めをされている方で子どもの保育が必要な方が利用されているのが保育所、お家にいらっしゃる、あるいはお家で子どもの面倒を見ることが可能である方が利用されているのが幼稚園という違いがあり、以前は幼稚園に通うのは5歳児だけで、小学校に入る前に幼稚園に1年行くという形が加西市では多かった。

しかし、幼稚園のお迎えの時間は早く、夏休みや冬休みもあり、子どもを預かる時間が比較的短いため、5歳になっても保育所に預けたいという保護者も多い。共働きの家庭が増え、出来るだけ長く子どもを見てほしいというニーズがある中で、保育所も幼稚園も両方みられるような形で進めてきたのが、幼児園であり、こども園である。

一方で、教育利用の方については、5歳だからというよりも、4歳、3歳の小さいうちから教育保育、子ども達に集団活動をさせたいとの思いから、働いていないが、子ど

もを預けたいと希望される方もあり、4歳、3歳も教育利用のニーズが増えてきている。就学前の5歳も大事だが、その準備段階として4歳の土台となる部分、また、4歳の前の3歳の部分、その年齢に応じた幼児教育があり、そういったところをきめ細やかに市の方でも教育を提供していきたいと考えている。また、全国的にも3歳からの教育利用が標準化してきており、その年齢に応じたカリキュラムを用意している。以上のことから、こども園として今回募集を行うものである。

・1号認定と2号認定とは、だぶっているということなのか。

(回答) どちらも3歳以上で年齢的には、だぶっているが、保育が必要なお家が2号認定で、保育が必要でないお家は1号認定となるため、ひとりの子どもについては重複していない。

・教育はしなくてよいので保育だけして欲しいという要望は無いのか。

(回答) 1号も2号も朝から14時までは、同じ教室で同じ先生が見るので、帰る時間が早いか遅いかの違いであると考えていただければ良いと思う。家庭の条件や環境にとられず、どの子ども同じ条件で平等に保育を受けられるところがメリットであると考えている。

### 生涯学習課長

公民館まつりの開催について、生涯学習課長より説明する。

中央公民館まつりは、今年度コミュニティセンターの改修工事の関係で、中央公民館の登録グループ協議会で開催中止を決定している。

その他3つの公民館は、10月、11月に順次、まつりを開催する予定で、日頃、公民館活動をしている方々が、その学習の成果を発表する場となる。

善防公民館は、10月19日、20日開催。19日は、プロ棋士による将棋特別講座と将棋大会、旭堂南海氏の講談。20日は登録グループの芸能発表。

南部公民館は、10月26日、27日開催。26日は、オープニングの加西中の吹奏楽部の演奏の後、歌手羽生知央氏を招いてのコンサート。27日が芸能発表。

北部公民館は、11月16日開催。会場は泉中学校の体育館。オープニングの泉中の吹奏楽部の演奏の後、栗木剛氏の講演会、芸能発表となる。

文化財の県登録について、生涯学習課長より説明する。

新聞報道にもあったが、加西市青野原町に所在する青野原俘虜収容所「将校用風呂棟」が

令和元年9月5日に、兵庫県の登録文化財に登録された。

青野原俘虜収容所は、第一次世界大戦で日本が得た捕虜を収容するために設置された本格的な捕虜収容所の1つで、大正4年（1915年）9月20日から供用が開始され、ドイツ人とオーストリア＝ハンガリー人約500人が収容された。

将校用風呂棟は、将校用の収容棟に付属して建設され、個人で入る小型のものである。この風呂棟は建設当時の位置を保っており、国内でも現存する唯一の第一次世界大戦俘虜収容所風呂棟であり、原位置を保つ建造物としても稀有な存在であることから、県に登録された。

地元では、青野原俘虜収容所保存会が結成されており、管理と活用の取組みを進めている。

#### 教育委員からの質問および生涯学習課長の回答

・登録文化財の現地での場所がわかりにくい。道案内の看板や車の駐車場などはどうなっているのか。また老朽化が進んでいるが、修理についてはどう考えているのか。

(回答) 青野原町公民館の横に、収容所の地図を記載した説明看板を建てている。イベント時などは保存会が駐車場の場所を考えていると思うが、普段は見学用の駐車場が確保されているわけではなく、公民館に仮に停めさせてもらっている。

登録文化財の「風呂棟」については民地ではあるが、道路際に小さな看板を保存会が設置している。

修理については、県登録文化財になったので、補助金制度の活用も考えながら、地元と検討することになる。

・現地に行ったが、登録文化財の場所を確認できなかった。県登録文化財になったことで、今後は地域と兵庫県教育委員会との直接のやり取りになるのか。加西市教育委員会とのかかわり方や今後の方針はどうなるのか。

(回答) 活用については、地元保存会、富合地区ふるさと創造会議等が、加西市教育委員会と相談しながら取組みを進めている。修理の部分については補助金対応があるので県の教育委員会にかかわってもらいながら進めていくことになる。

教育委員からは、「大事な遺産であるので対応をしっかりとお願いしたい」「老朽化がかなり進んでいるように思うので対応をしてもらいたい」との要望があった。

## 図書館長

図書館まつりの開催について説明する。

図書館まつりを今年も10月26日、27日に開催する。このまつりは図書館の年間を通じて一番大きなイベントである。

26日（土）には、「子どもと大人のためのおはなし会」を開催する。ボランティアの「かさい・えほんの森」に毎週土曜日に子どもを対象にしているおはなし会を、今回は子どもと大人向けにさせていただき、絵本の世界を楽しんでもらう。

27日（日）には、4つのイベントを行なう。①キッズお楽しみ製作「ぞうさんのおさんぽバッグ」を作るコーナーを設ける。②毎年恒例の「雑誌リサイクルフェア、雑誌福袋の抽選会」を行う。③新企画「筆文字アートゆるり書でしおりを作ろう」で、市内の坂田のりこさんを講師にお招きし、読書の秋にぴったりのオリジナルしおり作りを体験していただく。④閉館後の3階カウンター前のくつろぎコーナーで西脇市のティンカーベルさんをお招きし、「図書館でベルコンサート～癒しのベル演奏をあなたに～」を開催し、普段は静かな図書館でミュージックベルとトーンチャイムが奏でる音色を楽しんでいただく。

また、10月の1か月間は「中学生からの読書郵便」をパネルに展示し、中学校ごとに中学生からのおすすめ本を紹介する。

## 総合教育センター所長

令和元年度 研修講座の中間まとめについて説明する。

令和元年度は、35コース43講座を計画し、8月末現在で31講座が終了。受講者合計は953名であった。受講者による講座の感想評価は5点満点で平均4.70であり、講座への満足度が高いことがうかがえる。また、研修講座を小学校、中学校、特別支援学校、そして、公立・私立の幼保園教諭保育士等も参加できるように日程調整を行った。

〈成果〉

- ・新学習指導要領に対応した研修として、道徳・小学校英語・学力向上・プログラミング教育等を実施し、実践的な研修により、すぐに現場で活用できるものを増やした。
- ・校内研修や担当者会と総合教育センターの共催による研修として、算数（算数担当者会）・道徳（北条小学校）・小学校英語（英語担当者会）の開催を予定している。
- ・現地研修を充実させ、環太平洋大学・長島愛生園・富久錦・あびき湿原など、より体験的な研修が実施できている。

〈課題〉

- ・講師との綿密な打ち合わせを行い学校現場のニーズに合った講座内容になるように対

応するとともに、魅力ある講師の選定を行い、さらに講座の充実を図る。

- ・学校行事に重ならないよう丁寧に日程調整を行ってはいるが、日程が非常にタイトになっている。また、5月に受講受付を行い、休業日中に講座を計画していても、夏休み前に出張が入ってくる場合もあり、決定後の日程の変更が難しくなっている。

教育委員からの質問および総合教育センター所長の回答

- ・8月3日（土）の幼児教育研修講座の私立幼保園からの参加者数と昨年度1月、2月の研修講座の幼保園からの参加者数はどれぐらいであったのか。

(回答) 8月3日の幼児教育研修講座の私立幼保園からの参加者は3名。(所長回答)  
昨年度末の私立幼保園からの参加者数は、行事と重なった関係で、1～2名であったと記憶している。(こども未来課主幹回答)

- ・以前は研修の設定が平日であり、私立幼保園からの参加がほとんど無かったのであるが、今回土曜日に設定していただいたことで、1人でも2人でも参加できたということは、非常にありがたいことだと思う。できれば、もう少し参加してもらえるように、私立幼保園への案内の際に、「できるだけご参加ください」といったアプローチがあっても良いのではないか。

(回答) こども未来課と連携して、日程、講師選定を行い、幼保園への案内も協力して行っていく。

教育委員からは、公立私立ともに、できるだけ多くの方が参加できるように、引き続き工夫をお願いしたいとの要望があった。

- ・研修講座の要望のところに「提示された研修内容と違うものがあった」とあるが、詳しい説明をしていただきたい。

(回答) 研修講座の内容については、参加申し込みのある5月の段階での内容をB4サイズ用の紙1枚に簡単にまとめた一覧で示し、各学校に配布している。その後、講座によっては、講師との打ち合わせを進める中で、より加西市の教育課題に合致した講座になるよう内容を精選していくことにより当初の記載との差異が生じ、参加者の受け取るイメージとのギャップができてしまったのかもしれない。

これからは、研修内容や講師の紹介についてのもう少し詳しい案内を心がけたい。

教育委員からは、事前の案内と実際の研修の内容が異なるのはやはり、あまり望ましくないのですが、どうしても研修内容の変更をしなければならない場合もあるかもしれないが、できるだけ事前によく吟味して提示していただきたいとの要望があった。

・プログラミング教育は、どのようなもので、いつから何年生を対象に始まるのか。  
(回答) 新学習指導要領に盛り込まれ、コンピュータープログラムを意図通りに動かし、論理的な思考力を育むことから、将来AIを使いこなす、うまく活用できる人材を育成することを目的として、今年が試行、来年度から始まる。

対象は何年生からというよりも、小学生から各教科の中に組み込まれて学習し、発達段階に応じて中学、高校へと繋げていくことになるが、指導の手法については、研修を重ね模索中である。

加西市は、タブレット機器等の充実は図られているが、実際授業で使うソフト等はこれから担当者を中心として検討していく必要がある。

## 1.1 協議事項

なし

## 1.2 教育委員の提案

・定例教育委員会の会議資料を遅くとも1週間前までには届けてほしい。私たちには、初めて聞くような内容ばかりで分からないことが多い。もう少し早く、資料を送っていただくと、教育委員で集まって勉強会なり、意見交換などを行うことができる。

・ぜひ、一週間前をお願いしたい。2、3日前に送られてきても情報共有ができない。やはり一週間もしくは10日程前に送っていただいて、保護者の立場としての意見もあるので、教育委員で集まって相談をした上で、提案したい。前回の定例教育委員会は、18分で終わってしまったが、そういう状況なので、前もって教育委員さんと共有出来ていたら、提案することは必ず出てくると思う。大変だとは思いますが、早く送っていただく努力をしてほしい。

・中学校の体育祭、小学校の運動会を見させていただいた。

中学校ではすっきりとした青空の下、生徒たちが主体的になって、自分たちで体育祭を作っていくのだという気持ちで頑張っている様子を見ることが出来た。

小学校の運動会は天候が悪くて、校長先生、PTAの役員の方々がやきもきしながら、気を遣いながら、日曜にされたのだが、かなりの決断であったのではないかと思います。

の中で、子どもたちが一生懸命走って、演技に取り組んでいる様子を見て、加西の未来を担う子どもたちが、しっかり育っているのだという想いを抱かせていただいた。

先生方にもお礼を言っていたきたい。

### 1.3 今後の予定について

- ・第10回定例教育委員会 10月21日（月）14:00～1F多目的ホール
- ・総合教育会議 10月21日（月）15:30～1F多目的ホール
- ・第11回定例教育委員会 11月20日（水）14:00～1F多目的ホール

### 1.4 その他

9月19日（木）に兵庫県民会館において、令和元年度市町村教育委員研究協議会が開催され、3名の教育委員が参加された。3つの分科会にわかれ、「いじめ・不登校支援・児童虐待対応について」「地域と学校の連携・協働について」「学校における働き方改革について」それぞれ意見交換を行った。

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和元年9月25日

出席者

(出席者署名)